

国際バルク戦略港湾の選定に対する

要請書

平成23年3月

名古屋商工会議所
(社)中部経済連合会
愛知県
名古屋市
知多市
名古屋港管理組合

要 請

名古屋港を国際バルク戦略港湾に選定

名古屋港の港湾整備につきましては、日頃から格別のご理解とご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

名古屋港は、総取扱貨物量が8年連続全国港湾第1位であり、コンテナ貨物（全国第3位）、完成自動車（全国第1位）だけでなく、バルク貨物についても全国港湾の上位にランキング（トウモロコシ（全国第3位）、大豆（全国4位）、鉄鉱石（全国7位）、石炭（全国9位））する国際総合港湾です。

中でも、コーンスターチ用トウモロコシは、名古屋港及び近接する衣浦港で日本全体の約5割、清水・田子の浦港もあわせると約7割と、圧倒的なシェアを占めております。

また、名古屋港のコーンスターチ用トウモロコシは、背後のコーンスターチ（糖化）工場により付加価値を創造し、糖化用（ぶどう糖など）、工業用、食品用に加工、名古屋港から日本全国に配送され、1,000種類を超える商品に利用されており、国民生活を幅広く支えております。

一方、我が国の産業及び国民生活に欠かせない物資である資源、エネルギー、食糧等の国際バルク貨物の世界的な獲得競争が進展している中、これら物資の安定的かつ安価な輸送の実現が不可欠です。

特に、穀物における国際バルク戦略港湾については、国内各圏域での需要や特色に応じた適切な配置が必要です。

そのため、名古屋港は、港湾間連携などにより輸送コストの削減を図り、また大型船のスケールメリットを活かすとともに、トウモロコシだけでなく、小麦や大豆も対象とした新食糧コンビナートの形成により、安心安全な国民生活を支え、穀物関連産業の競争力強化を目指します。

つきましては、国際バルク戦略港湾として名古屋港を選定するよう要請します。

平成23年3月

名古屋商工会議所会頭 高橋治朗

(社)中部経済連合会会長 川口文夫

愛知県知事 大村秀章

名古屋市長 河村たかし

知多市長 加藤功

名古屋港管理組合管理者
名古屋市長 河村たかし

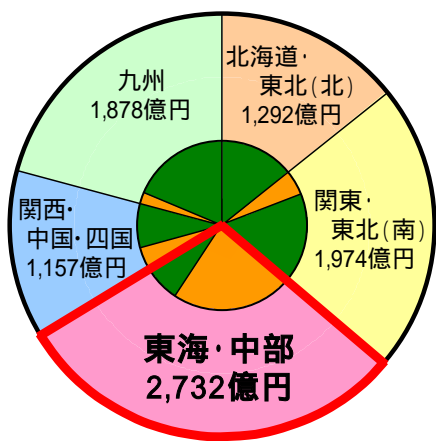
名古屋港の戦略 :

コーンスターチを中心とする国内配送拠点港の形成

名古屋港、衣浦港、清水・田子の浦港との港湾間連携による物流コストの削減を図り、安定的かつ安価な輸送を実現し、国内配送拠点として、**安心安全な国民生活や我が国産業の発展に貢献**していく。

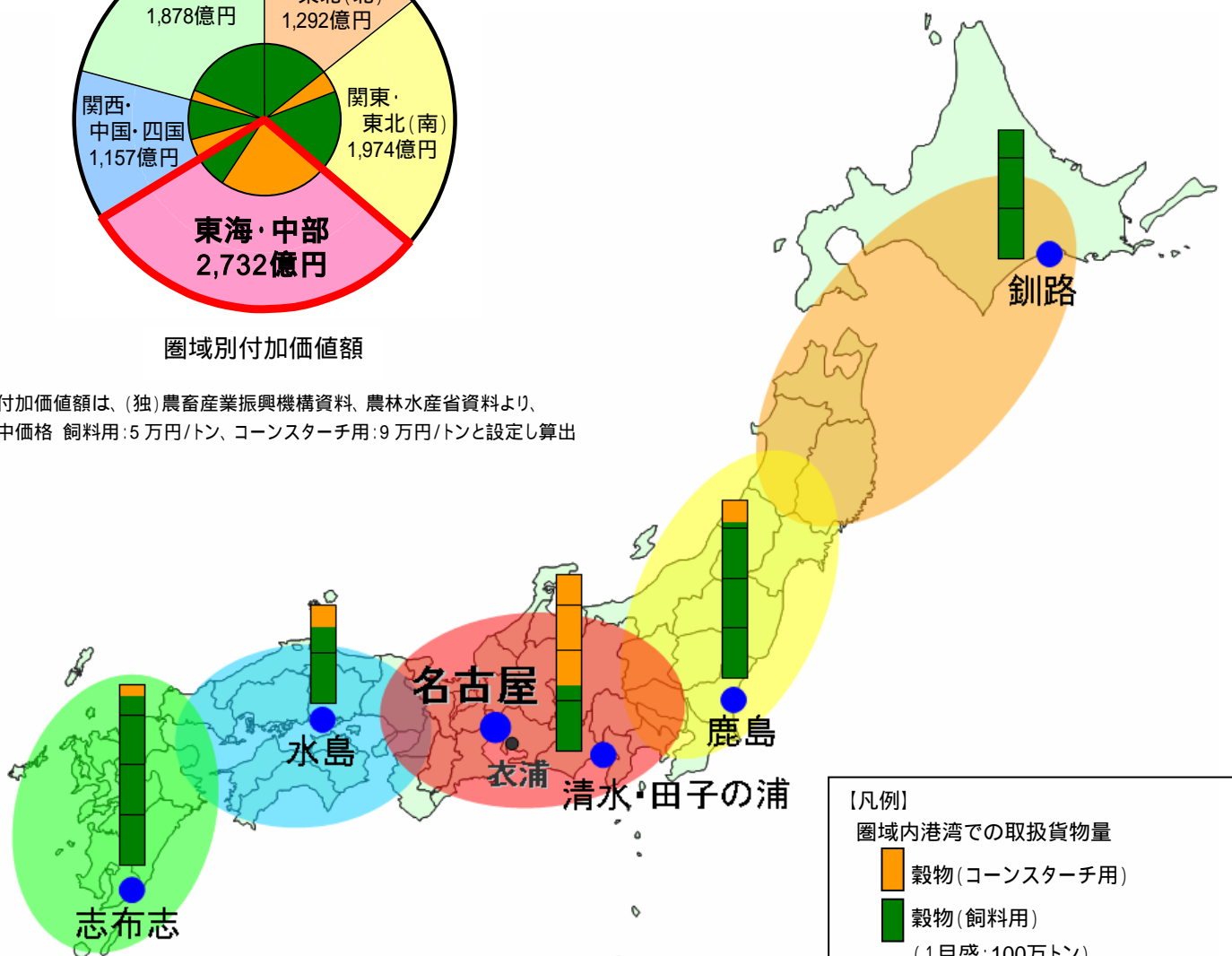
他の圏域からは賄えないコーンスターチ用のトウモロコシは、東海地区で**日本全体の約7割を輸入**

トウモロコシの付加価値額は、応募港湾毎の圏域で見ると、東海地区が最も大きく、その規模は**日本全体の約3割を占める**



圏域別付加価値額

付加価値額は、(独)農畜産業振興機構資料、農林水産省資料より、市中価格 飼料用:5万円/トン、コーンスターチ用:9万円/トンと設定し算出

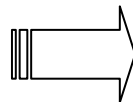


【凡例】

- 圏域内港湾での取扱貨物量
- 穀物(コーンスターチ用)
- 穀物(飼料用)
- (1目盛:100万トン)
- 国際バルク戦略港湾応募港湾
- 応募港湾の圏域

名古屋港に輸入されたトウモロコシは、**背後の工場**でコーンスターチへ加工、**全国へ配送**され、**我が国の産業や国民生活を支える**

コーンスターチ用トウモロコシの輸入



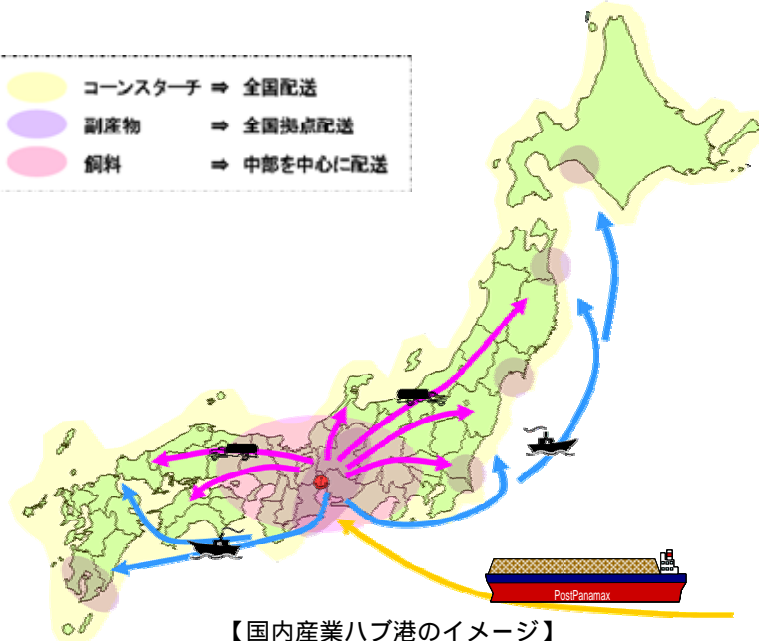
背後に集積する製造工場で

コーンスターチへ加工



輸入原料から付加価値を創造し、全国へ配送する**国内産業ハブ拠点の形成**

- コーンスターチ ⇒ 全国配送
- 副産物 ⇒ 全国拠点配送
- 飼料 ⇒ 中部を中心に配送



全国へ配送

国民生活を支える1,000種類以上の商品へ加工される



< 医薬用 > (点滴薬等)



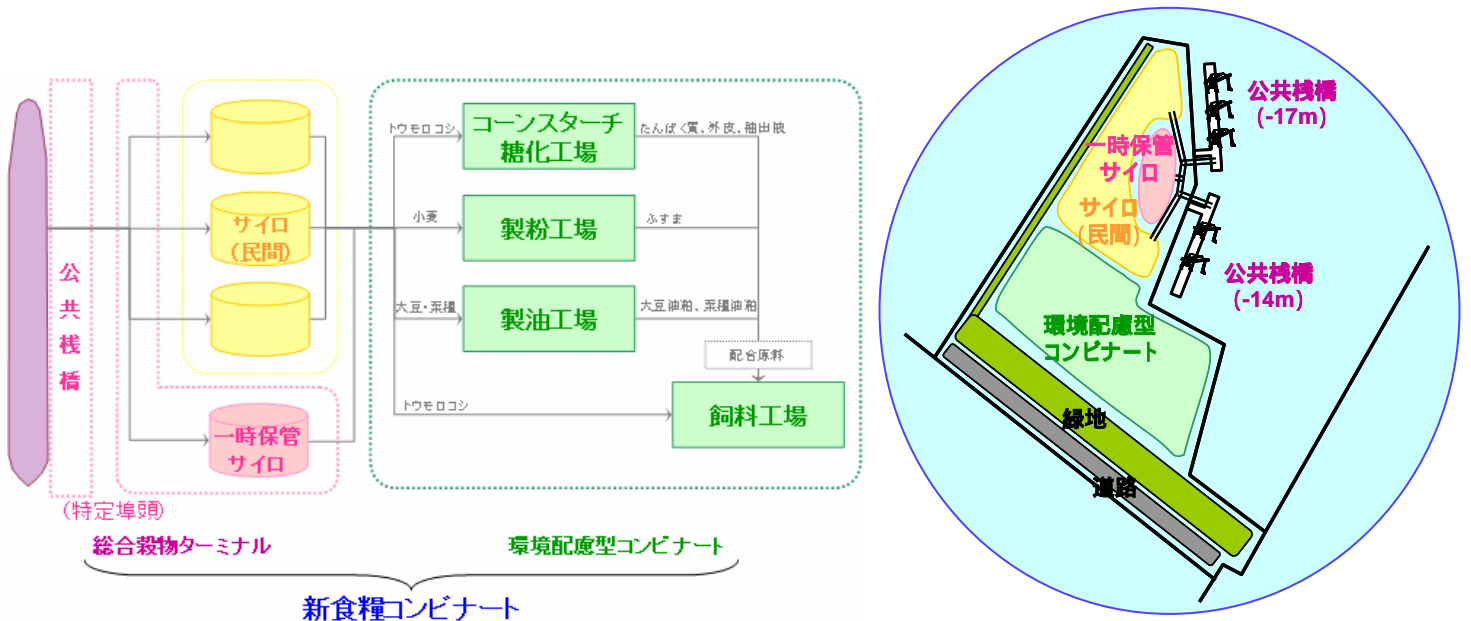
< 食品用 > (パン、ジュース、ビール等)



< 製紙用 > (紙、のり、接着剤等)

名古屋港の戦略 : 新食糧コンビナートの形成

大型船のスケールメリットや名古屋港が持つ穀物の総合力を活かした総合穀物ターミナルの実現、副産物の有効活用や横持ちが発生しない環境配慮型コンビナートの形成など穀物産業全体の競争力強化を目指す。

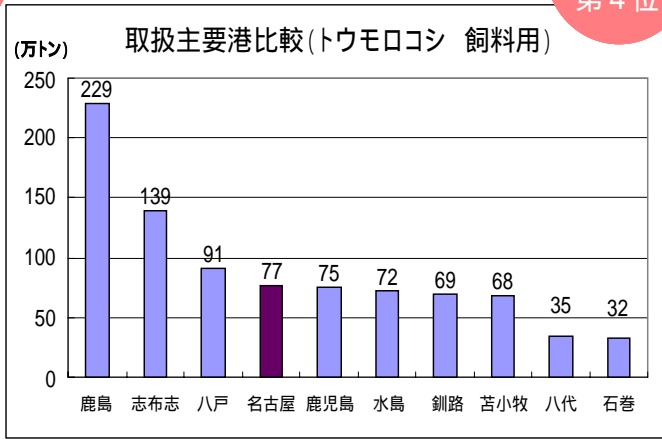
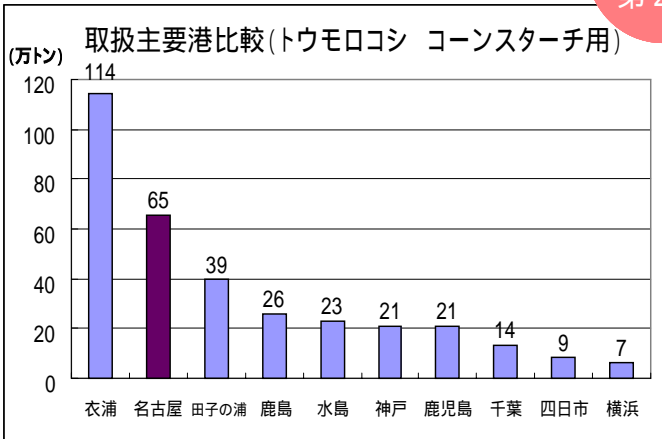


現時点において企業を特定するものではない。

応募港湾のなかで、3大穀物の取扱貨物量において
全て上位ランキングに入るのは名古屋港のみ！

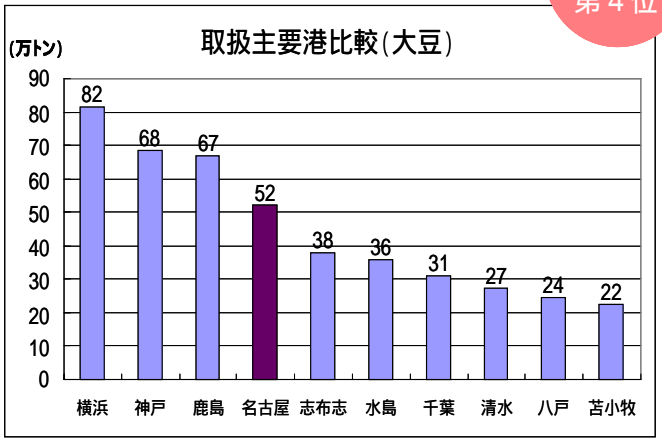
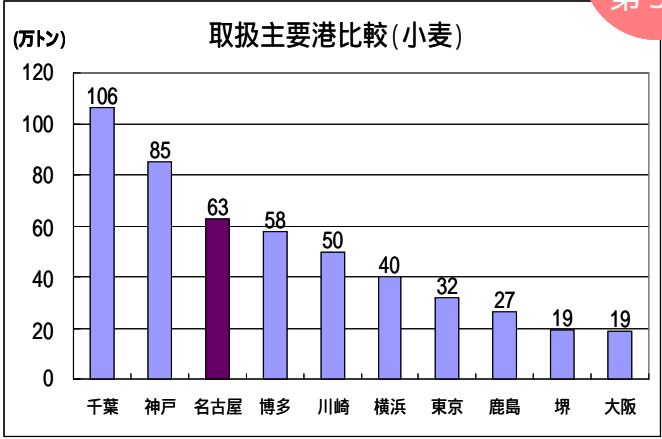
名古屋港
 全国
 第2位

名古屋港
 全国
 第4位



名古屋港
 全国
 第3位

名古屋港
 全国
 第4位



出典:財務省貿易統計(2008)

【名古屋港の2港寄り実績と地理的特性】

➡ 穀物について、**セントラルジャパン**という地理的特性を活かし、**国際バルク戦略港湾応募港湾**を含め、**全国の港湾と広域連携**。

